（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和７年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	グリーン&セーフティ拠点事業
事業主体 （連絡先）	信州大学グリーン社会協創機構 担当：内田　0263-37-2146　ssxi@shinshu-u.ac.jp
事業区分	（1）地域協働の推進に関する事業（4）安心・安全な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,713,474 円（うち支援金：　1,275,000 円）

事 業 内 容

環境問題や防災減災の啓発、地域との実践・実験・研究の協創の場として、信州大学中央広場を活用し、イベントを開催。

1. 芝生広場イベント（’25 年 7 月 11～13 日）
2. オープニングセレモニー[以下、OP セレモニー]（’25 年 11 月 13 日）
3. 信州型避難所システム実働訓練[以下、避難訓練イベント]（’25 年 12 月 13～14 日）
4. キャンドルナイト in 中央広場[以下、キャンドルナイト]（’25 年 12 月 19 日）

【芝生張りイベントの様子】

事 業 効 果

① 全イベントにて環境と防災に関する事柄を盛り込み自分ごととして考えるきっかけを提供。特に今後地域の後継者となり得る学生には継続的な広場への関心を高めることとなった。
② 上記「1.芝生広場イベント」にて、（業者への発注で無く）周辺地域の方々と学生を中心とした大学関係者の自らの手により芝張りを行い、本事業最大の出発点である芝生広場とした。
③ 全てのイベントにおいて複数のメディアにて掲載され、地域に開かれた憩いの場として、広く発信を行うことができた。
（以下、順にイベント参加者数、メディア掲載数）
（芝生広場イベント：259 名、3 件以上）
（OP セレモニー：100 名程度、4 件以上）
（避難訓練イベント：250 名、1 件以上）
（キャンドルナイト：317 名以上、1 件以上）
④ イベントの際には、地域周辺の飲食店、小中高校といった教育機関などの協力を得、飲食店の顧客、学校の父兄などにもその存在を周知できたのと同時に、今後の活動の糧となる繋がりを持つことができた。

【目標・ねらい】

① 環境問題や防災減災への関心を高める機会提供
② 憩いの場所としての整備
③ 地域の魅力向上
④ 地域連携の強化

※自己評価【　A　】

【理由】（事業効果と重複するが）
① 全イベントにて両関心対象を要素として取り入れた。
② 自らの手による整備を進めた。
③ 全イベントにてメディア協力による発信を行った。
④ 周辺地域からの理解、周辺教育機関及び周辺店舗の周知協力を得た。

今後の取り組み

地域と大学の憩いの場である中央広場の存在を知ってもらうこと、その整備と催しが地域と大学との自らの手で行われることが重要である。そのことによりこの地域への関心と評価（価値）を高め、そのことにより地域連携の強化、長期的な関係人口の創出と拡大に繋がる。
そのために目的・ねらいは変更せず継続し、これまで培ってきた地域との繋がりを拡充し、地域全体を視野に入れた中央広場魅力向上のための施策を企画・実施する。